

# 施設の紹介

地球研では、いわゆる理系・文系など既成の分野を超えた真の総合的な学問の基盤形成を目指しています。そのためには、そこに集うスタッフが絶え間なく議論を繰り返し、互いに切磋琢磨できる環境の整備が肝要であると考え、この施設の設計の第一におけるコンセプトとなっています。

地球研施設にある研究室は、なだらかに弧を描いた全長150mの大空間にすべての研究プロジェクトが有機的な連携をもつような開放的プランとして設計されています。内部だけでなく外来のさまざまな研究者が相互に接触できる施設の共同利用性の機能を最優先するように配慮したものとなっています。研究プロジェクトごとの独自性にもとづく共同研究を可能にし、しかもそれらを相互に有機的につなぐ空間配置が特徴となっています。建物のほぼ中央には、多くの人が利用する図書室や情報処理室を配置するとともに、日常的な議論を行うために3つのサロンのような空間も準備されています。また、地階には、機能に応じた実験室がクラスター群として設置され、研究室と同様、共同利用における利便性と連携性を重視した設計となっています。

別棟になっている「地球研ハウス」は、宿泊を主として設備した施設です。ハウス入り口左手にあるアセンブリーホールとダイニングサロンは、宿泊者に限ることなく地球研関係者が集う場所としてオープンに使えるようになっています。

また地球研の建物は、地球環境を研究する機関にふさわしく、京都の景観と違和感のない瓦葺きの建物となっており、施工前にあった樹木もできるだけ活かして工事を行いました。採光や空調に関しても、環境へのインパクトを抑えるための最新の工夫がなされています。

## ■ 施設の概要

敷地面積 3万1354.17m<sup>2</sup>

建築面積 6256.68m<sup>2</sup>(本館:5609.59m<sup>2</sup>、地球研ハウス:647.09m<sup>2</sup>)

延べ面積 1万3154.37m<sup>2</sup>(本館:1万2195.20m<sup>2</sup>、地球研ハウス:959.17m<sup>2</sup>)

構造 本館:RC造一部S造、地球研ハウス:RC造

階数 本館:地下1階 地上2階、地球研ハウス:地下1階 地上2階

## ■ 本館立面図



地球研本館と地球研ハウス

## ● 実験室

地球研の研究プロジェクトは、日本国内のみならず世界各地で行われています。研究の対象や方法も多岐にわたっているので、地球表層環境やその構成物質に対して物理計測、化学分析、生物解析などを高いレベルで行うことができる研究環境が必要です。

地球研の地下1階にある18の実験室は、こうした多様な環境研究の要望に応えられるように設計されており、顕微鏡観察や安定同位体分析、DNA分析など、研究対象や実験目的に応じた施設整備がなされています。その他にも、観測機器や試料採取装置の保管・調整を行う野外調査準備室、生物や氷床コアなどの試料を保管・処理する低温保管室、人工的な環境で生物を育てる培養室、汚染のない環境で試料を処理するクリーンルームなど、異なる機能を持つ実験室が整備されています。



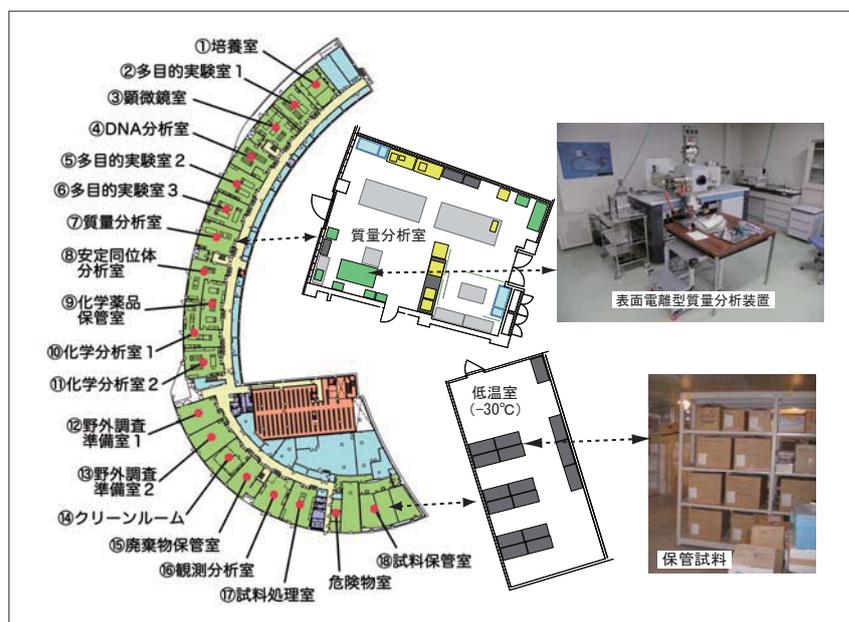
クリーンルームでの作業風景

## 機器・装置類

地球研では、各プロジェクトが購入して専有的に利用する機器の他、汎用性が高く新しい地球環境研究への発展が期待される先端的な共通機器を重点的に整備しています。大学共同利用機関として共同研究を促進するために、研究推進戦略センターの研究推進部門が中心となって、これら機器類を用いた手法開発や維持を行う一方で、手法が確立した分析法については手順のマニュアル化を行っています。地球研では特に、近年様々な環境研究に適用されている安定同位体比分析装置を中心に据えつつ、各種分析機器の整備を図っています。実験に共通して利用する消耗品類については、まとめて購入して各プロジェクトで常時利用できるようになっています。

## 維持管理

研究施設の維持や管理は、研究推進部門と実験室を利用するプロジェクトが協力しながら行っています。2009年度の実験施設利用者は35機関、200名ほどです。年度ごとにプロジェクトが新しいものに入れ替わるので、実験施設利用に関するガイダンスのほか、実験施設を実際に利用しているスタッフによる情報交換を年に数回行っています。実験室や機器、保管試料の情報のほか、施設利用法や機器利用マニュアルなどの情報は、実験施設のホームページで閲覧できます。2010年度からは、地球環境研究に特化した実験手法の開発を目指した活動を展開する予定です。



ホームページを通じた利用者への情報提供

## 沿革

- 1995** (平成7年) 4月 ● 「地球環境科学の推進について」(学術審議会建議)  
「地球環境問題の解決を目指す総合的な共同研究を推進する中核的研究機関を設立することを検討する必要がある。」
- 7月 ● 文部省、学術審議会建議を受け「地球環境科学の研究組織体制の在り方に関する調査研究会」を設置
- 1997** (平成9年) 3月 ● 「地球環境科学に関する中核的研究機関のあり方に関する研究報告書」(地球環境科学の中核的研究機関に関する調査研究会)
- 6月 ● 「地球環境保全に関する当面の取組」(地球環境保全に関する関係閣僚会議)  
「幅広い学問分野の研究者が地球環境問題について、総合的に研究を行うことができるよう、地球環境科学の研究組織体制の整備に関する調査研究を行う。」
- 1998** (平成10年) 4月 ● 地球環境科学研究所(仮称)の準備調査を開始
- 2000** (平成12年) 3月 ● 地球環境科学研究所(仮称)準備調査委員会、人文・社会科学から自然科学にわたる学問分野を総合化し、国内外の大学、研究機関とネットワークを結び、総合的な研究プロジェクトを推進するための「総合地球環境学研究所(仮称)」の創設を提言
- 4月 ● 総合地球環境学研究所(仮称)創設調査室を設置するとともに創設調査機関に創設調査委員会を設置
- 2001** (平成13年) 2月 ● 「総合地球環境学研究所(仮称)の構想について」(最終報告)(創設調査委員会)
- 4月 ● 総合地球環境学研究所の創設  
国立学校設置法施行令の一部を改正する政令(平成13年政令第151号)の施行に伴い、総合地球環境学研究所を創設し、京都大学構内において研究活動を開始。初代所長に日高敏隆が就任
- 2002** (平成14年) 4月 ● 旧京都市立春日小学校(京都市上京区)へ移転
- 2004** (平成16年) 4月 ● 大学共同利用機関の法人化に伴い、「大学共同利用機関法人 人間文化研究機構」に所属
- 2005** (平成17年) 12月 ● 新施設(京都市北区上賀茂本山)竣工
- 2006** (平成18年) 2月 ● 旧春日小学校より新施設(京都市北区上賀茂本山)へ移転
- 5月 ● 総合地球環境学研究所施設竣工記念式典を実施
- 2007** (平成19年) 4月 ● 立本成文が第二代所長に就任
- 5月 ● 副所長を設置
- 10月 ● 研究推進センターを研究推進戦略センターに改組

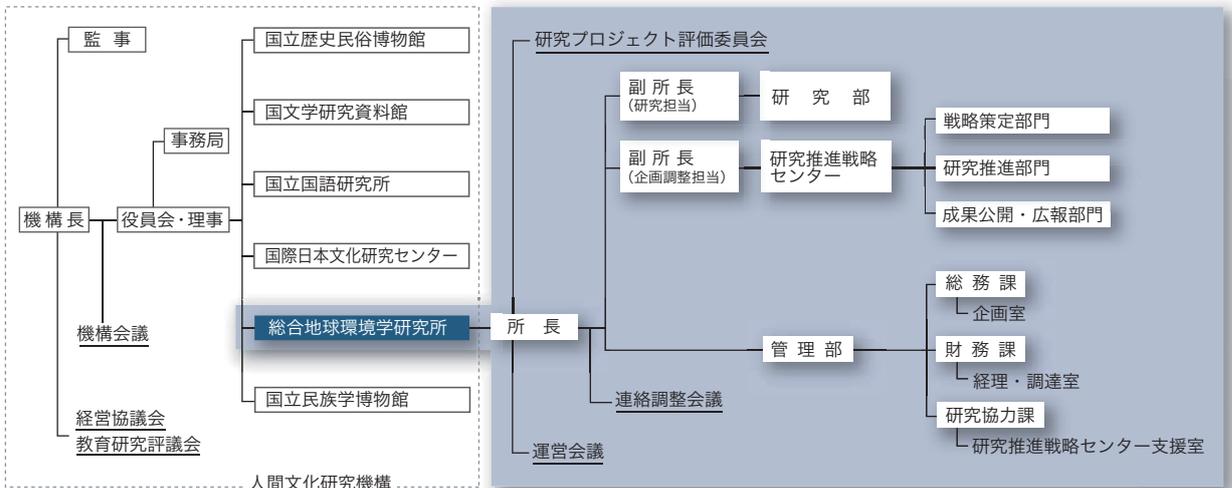


創設時の地球研〈2001年4月～2002年3月〉



旧春日小学校時代の地球研〈2002年4月～2006年1月〉

## ● 組織図



(2010年4月1日現在)

## ● 財務・外部資金等

### ■ 財務セグメント情報 (2008年度)

#### 業務費用

種別	金額 (千円)
業務費	2,207,991
大学院教育経費	2,540
共同利用・共同研究経費	1,156,981
教育研究支援経費	64,315
受託研究費	58,689
人件費	925,466
一般管理費	164,650
財務費用	70,447

費用計 2,443,089

#### 業務損益

#### 業務収益

種別	金額 (千円)
運営費交付金収益	2,170,963
大学院教育収益	2,540
受託研究等収益	58,689
寄付金収益	6,782
その他	213,598

収益計 2,452,574

9,484

### ■ 外部資金等受入額 (2008年度)

区分	金額 (千円)
産学連携等研究費	58,690
科学研究費補助金	86,525
奨学寄附金	7,520

※産学連携等研究費は、受託研究及び共同研究経費を合算したものです。



現在の地球研 (2006年2月～)

## ● 運営組織と役割 (2010年4月1日現在)

### ■ 運営会議 研究所の人事、事業計画、その他管理運営に関する重要事項について審議します。

岩坂泰信	金沢大学フロンティアサイエンス機構特任教授	秋道智彌	総合地球環境学研究所副所長・研究推進戦略センター長
白幡洋三郎	国際日本文化研究センター研究部教授	阿部健一	総合地球環境学研究所プログラム主幹
藤井理行	国立極地研究所長	佐藤洋一郎	総合地球環境学研究所副所長・プログラム主幹
古澤 巖	鳥取環境大学長	谷口真人	総合地球環境学研究所プログラム主幹
安成哲三	名古屋大学地球水循環研究センター教授	湯本貴和	総合地球環境学研究所プログラム主幹
横山俊夫	京都大学大学院地球環境学学術教授・三才学林長	渡邊紹裕	総合地球環境学研究所プログラム主幹
米本昌平	東京大学先端科学技術研究センター 産学官連携研究員・特任教授		
鷺田清一	大阪大学総長		

### ■ 研究プロジェクト評価委員会 研究所の特定共同研究に関し、必要な事項を専門的に調査審議します。

(国内委員)		(海外委員)	
岩坂泰信	金沢大学フロンティアサイエンス機構特任教授	IKAWA-SMITH, Fumiko	Former Associate Vice Principal, McGill University, CANADA
大塚柳太郎	(財)自然環境研究センター理事長	OHMURA Atsumu	Professor, Swiss Federal Institute of Technology, SWITZERLAND
田中耕司	京都大学研究推進部特定職員 (元京都大学地域研究統合情報センター長)	BELLWOOD, Peter	Professor, School of Archaeology and Anthropology, The Australian National University, AUSTRALIA
植田和弘	京都大学大学院地球環境学学術教授	FU, Congbin	Director, START Regional Center for Temperate East Asia, CHINA; Research Professor, Institute of Atmospheric Physics(IAP)/Chinese Academy of Sciences(CAS), CHINA
山形俊男	東京大学大学院理学系研究科長	LOVEJOY, Thomas E.	President, The H. John Heinz III for Science, Economics and the Environment, USA
横山俊夫	京都大学大学院地球環境学学術教授・三才学林長	CHUN Kyung-soo	Professor, Department of Anthropology Seoul National University, KOREA
中村雅美	江戸川大学情報文化学学科教授		
虫明功臣	法政大学大学院工学研究科客員教授・ (財)河川環境管理財団総括研究顧問		

### ■ 連絡調整会議 研究所の円滑な運営を図るため、研究所の管理運営に関する重要事項を審議します。

立本成文	所長	阿部健一	プログラム主幹	渡邊紹裕	プログラム主幹
秋道智彌	副所長・研究推進戦略センター長	谷口真人	プログラム主幹	佐藤洋一郎	管理部長
佐藤洋一郎	副所長・プログラム主幹	湯本貴和	プログラム主幹		

※ その他、研究所の業務に関して必要な事項を専門的に審議し、また、実施に当たるため、各種委員会を設置しています。

## ● 名誉教授等 (2010年4月1日現在)

<b>■ 名誉教授</b> (称号授与年月日) 中西正己 (2003年4月1日) 和田英太郎 (2004年8月1日)	日高敏隆 (2007年4月1日) (没2009年11月) 中尾正義 (2008年4月1日) 福嶋義宏 (2008年4月1日)	<b>■ 特別客員教授</b> 木下鉄矢
--	---	-------------------------

## ● 所 員 (2010年4月1日現在)

<b>■ 所 長</b> 立本成文	<b>■ 副所長</b> 秋道智彌(企画調整担当) 佐藤洋一郎(研究担当)
-------------------	--

### 管理部 ■ 部 長 佐藤洋一郎

<b>■ 総務課</b> 課 長 植村 剛 課長補佐 八木清隆 総務係 係長 松尾 隆 主任 石地啓介 人事係 係長 谷川喜隆 主任 稲葉茂雄 係員 岡内直子 企画室 室長 八木清隆(併任) 企画評価係 係長 西村隆利 係員 中大路悠 情報係 係長 西村隆利(併任) 係員 中大路悠(併任)	<b>■ 財務課</b> 課 長 南 健一 課長補佐 中久保隆雄 司計係 係長 奥村 東 主任 村瀬真美子 施設管理係 係長 西川知延 経理・調達室 室長 中久保隆雄(併任) 経理・調達係 係長 八木 司 主任 山林伸子	<b>■ 研究協力課</b> 課 長 佐良俊久 課長補佐 石田弥太郎 研究協力係 係長 大井俊二 係員 高取庸子 国際交流係 係長 徳田美紀 研究推進戦略センター支援室 室長 石田弥太郎(併任) 研究推進係 係長 三原一晃 係員 本田孝之
---	--	--

## 研究部

### ■ プログラム主幹

谷口真人 (併任)  
湯本貴和 (併任)  
渡邊紹裕 (併任)  
佐藤洋一郎 (併任)  
阿部健一 (併任)

### ■ 教授

井上 元 (大気化学)  
長田俊樹 (言語学)  
川端善一郎 (微生物生態学)  
佐藤洋一郎 (植物遺伝学)  
谷口真人 (水文学)  
村松 伸 (建築史・都市史)  
門司和彦 (人類生態学)  
山村則男 (数理生態学)  
湯本貴和 (植物生態学)

### ■ 准教授

内山純蔵 (先史人類学)  
梅津千恵子 (環境資源経済学)  
奥宮清人 (フィールド医学)  
窪田順平 (森林水文学)  
酒井章子 (植物生態学)  
縄田浩志 (文化人類学)  
檜山哲哉 (生態水文学)

### ■ 助教

加藤雄三 (法史学)  
谷田貝亜紀代 (気象・気候学)

### ■ 客員教授

家田 修 (東欧地域研究・東欧経済史)  
嘉田良平 (農政学・環境経済学)  
川崎昌博 (大気環境化学)  
後藤多聞 (中国史・ドキュメンタリー制作)  
小山修三 (考古学)  
柴山 守 (地域情報学・人文情報学)  
林田佐智子 (気象学・大気環境情報学)  
光谷拓実 (年輪年代学)

### ■ 客員准教授

石川智士 (保全生態学・国際水産開発学)  
田中広樹 (環境水文学)  
藤田 昇 (草原生態学)

### ■ 招へい外国人研究員

EVANS, Tom (地理学)  
MERTZ, Mechtild (木材組織学・民族植物学・東洋美術史)  
NACHINSHONHOR, Urianhai (植物生態学)

### ■ プロジェクト上級研究員

C-06 源 利文 (分子生態学)  
C-07 酒井 徹 (衛生生態学)  
C-07 藤原潤子 (文化人類学)  
D-02 辻野 亮 (植物生態学)  
D-03 安富奈津子 (気象・気候学)  
R-03 承 志 (東洋史学)  
H-02 鞆田 崇 (哲学)  
H-03 大西正幸 (言語類型論)  
H-03 森 若葉 (言語学・シュメール学)  
H-04 榎林啓介 (考古学)  
H-04 ZEBALLOS VELARDE, Carlos Renzo (都市環境計画)  
E-04 久米 崇 (土壌水文学)  
E-04 LEKPRICHAKUL, Thamana (医療経済学)

### ■ プロジェクト研究員

C-05 豊田知世 (開発経済学)  
C-05 中田聡史 (物理海洋学)  
C-05 山本圭香 (衛星測地学)  
C-06 安部 彰 (社会学・倫理学)  
C-06 板山朋聡 (水環境工学・生物物理学)  
C-06 高原輝彦 (化学生態学)  
C-06 本庄三恵 (微生物生態学)  
C-07 金 憲淑 (大気モデル)  
C-07 小林菜花子 (森林気象)  
C-08 林 憲吾 (東南アジア都市史・建築史)  
C-08 松田浩子 (東南アジア都市史・建築史)

C-08 MEUTIA, Ami Aminah (水文学)  
D-02 石丸恵利子 (動物考古学)  
D-02 佐々木尚子 (植生史学)  
D-02 瀬尾明弘 (植物分類学)  
D-02 村上由美子 (考古学)  
D-03 小坂康之 (民族植物学)  
D-03 坂本龍太 (公衆衛生学)  
D-03 濱田 篤 (気象学)  
D-04 岸本圭子 (昆虫生態学)  
D-04 小泉 都 (文化人類学)  
R-03 奈良間千之 (自然地理学)  
R-03 渡邊三津子 (自然地理学)  
R-04 蔡 国喜 (社会医療調査)  
R-04 蔣 宏伟 (人類生態学)  
R-04 東城文柄 (地域研究・林学)  
R-04 西本 太 (社会人類学)  
R-04 福士由紀 (中国近代史)  
R-05 石山 俊 (文化人類学)  
R-05 中村 亮 (文化人類学)  
H-02 木村栄美 (日本文化史・喫茶文化史)  
H-02 田中克典 (植物遺伝学)  
H-02 細谷 葵 (植物考古学)  
H-03 上杉彰紀 (考古学)  
H-03 寺村裕史 (考古学)  
H-04 中村 大 (日欧考古学)  
E-04 石本雄大 (生態人類学)  
E-04 宮寄英寿 (土壌学)

### ■ プロジェクト研究推進支援員

C-05 岡本高子 R-05 買 瑞晨  
C-06 伊吹直美 R-05 水真咲子  
C-07 清水宏美 H-02 沖田弘子  
D-02 細井まゆみ H-02 武藤千秋  
D-03 金城万智子 H-03 遠藤 仁  
D-03 田中愛子 H-03 園田 建  
D-03 野瀬光弘 H-04 内門 恵  
D-04 北村直子 H-04 大谷めぐみ  
R-03 余田 眞 H-04 嘉村 望  
R-05 石井 夢

### ■ 地域研究推進センター研究員/ 中国環境問題研究拠点研究員

松永光平 (地理学)

## 研究推進戦略センター

### ■ センター長

秋道智彌 (併任)

### ■ 教授

秋道智彌 (生態人類学)  
阿部健一 成果公開・広報部門長 (相関地域学・環境人類学)  
中野孝教 研究推進部門長 (同位体地球環境学)  
渡邊紹裕 戦略策定部門長 (農業土木学)

### ■ 准教授

関野 樹 (情報学)

### ■ 助教

神松幸弘 (動物生態学)  
NILES, Daniel (地理学)  
米澤 剛 (情報地質学)  
UYAR, Aysun (国際関係論・国際政治経済)

# 交通案内



## ■ JR 京都駅からお越しの場合

地下鉄烏丸線「国際会館駅」下車。3番または4-1番出入口から出て、国際会館駅前バスターミナル「2」より京都バス40系統「京都産業大学ゆき」または50系統「市原ゆき」に乗車(約6分)し、「地球研前」下車。

## ■ 京阪沿線からお越しの場合

京阪本線「出町柳駅」で叡山電鉄鞍馬線に乗り換えて「二軒茶屋駅」下車、徒歩10分。

## ■ 車・タクシーでお越しの場合

地下鉄烏丸線「国際会館駅」から「二軒茶屋駅」方面へ(約5分)。

